

対象校No. 506

注4

学校コード F113310103395

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

届出

注2

日本大学大学院 スポーツ科学研究科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

(改正前大学設置基準適用)

学校法人 日本大学

令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 本部学務課
三軒茶屋キャンパス教学サポート課

職名・氏名 ホンブガクム フジムチョウ
本部学務部事務長
マツバラ マミ
松原 麻美
キョウガク カチョウ
教学サポート課長
ミヤダイ カズミ
宮臺 和三

電話番号 本部学務課
03-5275-8015
三軒茶屋キャンパス教学サポート課
03-6453-1600

(夜間) 本部学務課
03-5275-8015
三軒茶屋キャンパス教学サポート課
03-6453-1626

e-mail 本部学務課
gakumu@nihon-u.ac.jp
三軒茶屋キャンパス教学サポート課
rmss.kyougaku@nihon-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

大学院スポーツ科学研究科

| ＜スポーツ科学専攻＞ | ページ |
|-------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 3 |
| 2. 授業科目の概要 | 7 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 13 |
| 4. 既設大学等の状況 | 14 |
| 5. 教員組織の状況 | 18 |
| 6. 附帯事項等に対する履行状況等 | 24 |
| 7. その他全般的事項 | 25 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 日本大学

(2) 大学名

日本大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒154-8513

東京都世田谷区下馬三丁目34番1号（〒102-8275 東京都千代田区九段南四丁目8番24号）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|
| 理事長 | (ハヤシ マリコ) 林 真理子 (令和4年7月) | | |
| 学長 | (サカイ タケオ) 酒井 健夫 (令和4年7月) | (オオヌキ シンイチロウ) 大貫 進一郎 (令和6年4月) | 酒井学長辞任に伴う変更 令和6年4月1日(6) |
| 研究科長 | (マシコ トシユキ) 益子 俊志 (令和5年4月) | | |
| 専攻主任 | (タネガシマ ヒサシ) 種ヶ嶋 尚志 (令和5年4月) | (ホテヤ コウ) 布袋屋 浩 (令和6年1月) | 種ヶ嶋教授の辞任に伴う変更 令和6年1月1日(6) |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
 令和6年度に報告する内容 → (6)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称（学位） | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 学生募集の停止について | 備考 |
|--|-----------|--------|------|-------------------------------------|------|-------------|--------------------------|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | | |
| 大学院スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻 修士（スポーツ科学） | 体育関係 | 2年 | 8人 | 2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人 | 16人 | - | 【基礎となる学部】スポーツ科学部競技スポーツ学科 |

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | | 春季入学以外の学期区分について | 収容定員充足率 | 収容定員充足率（控除後） | 備考 |
|-------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-----------------|---------|--------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | | | |
| A 入学定員 | - | - | - | - | - | - | - | - | 8 | 8 | 8 | 8 | - | 0.87倍 | - | 倍 |
| 志願者数 | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 10 | 6 | 6 | (-) | | | | |
| 受験者数 | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 10 | 6 | 6 | (-) | | | | |
| 合格者数 | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 10 | 5 | 5 | (-) | | | | |
| B 入学者数 | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | 10 | 4 | 4 | (-) | | | | |
| 入学定員超過率 B/A | - | - | - | - | - | - | - | - | 1.25 | 0.50 | 0.50 | - | | | | |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 対象年度 学 年 | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | | 備 考 |
|-------------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | - | - | - | - | - | - | - | - | 10 | - | 4 | - | |
| | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [1] | [-] | |
| | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| 2年次 | | | - | - | - | - | - | - | - | - | 10 | - | |
| | | | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | |
| | | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| 3年次 | | | | | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | | | | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | |
| | | | | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| 4年次 | | | | | | | - | - | - | - | - | - | |
| | | | | | | | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | |
| | | | | | | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| 計 | - | - | - | - | - | - | - | - | 10 | - | 14 | - | |
| | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [1] | [-] | |
| | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳 | | | 主な退学理由 (留学生の理由は[]書き) |
|------------|---------|---------|--------|--------|-----|--------------------------|
| | | | 入学した年度 | 退学者数 | | |
| | | | | うち留学生数 | | |
| 令和元年度 | - 人 | - 人 | 令和元年度 | - 人 | - 人 | |
| 令和2年度 | - 人 | - 人 | 令和元年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和2年度 | - 人 | - 人 | |
| 令和3年度 | - 人 | - 人 | 令和元年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和2年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和3年度 | - 人 | - 人 | |
| 令和4年度 | - 人 | - 人 | 令和元年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和2年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和3年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和4年度 | - 人 | - 人 | |
| 令和5年度 | 10 人 | 0 人 | 令和元年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和2年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和3年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和4年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和5年度 | 0 人 | 0 人 | |
| 令和6年度 | 14 人 | 0 人 | 令和元年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和2年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和3年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和4年度 | - 人 | - 人 | |
| | | | 令和5年度 | 0 人 | 0 人 | |
| | | | 令和6年度 | 0 人 | 0 人 | |
| 合計 | | 0 人 | | 0 人 | 0 人 | |

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|--|-----------------|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 基本科目 | スポーツ科学総論1 | 1前 | 2 | | | 3 | 2 | | | | | 1 |
| | スポーツ科学総論2 | 1前 | 2 | | | 3 | | | | | | |
| | スポーツ科学研究法 | 1前 | 2 | | | 2 | | 1 | | | | |
| | 小計(3科目) | - | 6 | | | 6 | 2 | 1 | | | | |
| 専門科目 (スポーツ科学分野) | バイオメカニクス特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | 1 |
| | 運動生理学特論 | 1前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ栄養学特論 | 1前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツリハビリテーション特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツ医学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | コーチング学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | トレーニング学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツ心理学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツ社会学特論 | 1後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 小計(9科目) | - | | 18 | | 6 | 2 | | | | | |
| 専門科目 (関連分野) | スポーツ統計学特論 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | スポーツ英語演習Ⅰ | 1前 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ英語演習Ⅱ | 1後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツマネジメント特論 | 1後 | | 2 | | | | | | | | |
| 小計(4科目) | - | | 6 | | | 1 | | | | | | |
| 研究指導 | 特別研究Ⅰ | 1通 | 4 | | | 6 | 2 | | | | | |
| | 特別研究Ⅱ | 2通 | 4 | | | 6 | 2 | | | | | |
| | 小計(2科目) | - | 8 | | | 6 | 2 | | | | | |
| 合計(18科目) | | | - | 14 | 24 | | 6 | 3 | 1 | | | 3 |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | | | | | | | | |
| 必修科目14単位、専門科目の選択科目から16単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること | | | | | | | | | | | | |

【令和6年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|--|-----------------|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 基本科目 | スポーツ科学総論1 | 1前 | 2 | | | 4 | 1 | | | | | 1 |
| | スポーツ科学総論2 | 1前 | 2 | | | 3 | | | | | | |
| | スポーツ科学研究法 | 1前 | 2 | | | 2 | 1 | | | | | |
| | 小計(3科目) | - | 6 | | | 7 | 2 | | | | | |
| 専門科目 (スポーツ科学分野) | バイオメカニクス特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | 1 |
| | 運動生理学特論 | 1前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ栄養学特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツリハビリテーション特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツ医学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | コーチング学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | トレーニング学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツ心理学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツ社会学特論 | 1後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 小計(9科目) | - | | 18 | | 7 | 1 | | | | | |
| 専門科目 (関連分野) | スポーツ統計学特論 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | スポーツ英語演習Ⅰ | 1前 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ英語演習Ⅱ | 1後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツマネジメント特論 | 1後 | | 2 | | | | | | | | |
| 小計(4科目) | - | | 6 | | | 1 | | | | | | |
| 研究指導 | 特別研究Ⅰ | 1通 | 4 | | | 7 | 1 | | | | | |
| | 特別研究Ⅱ | 2通 | 4 | | | 7 | 1 | | | | | |
| | 小計(2科目) | - | 8 | | | 7 | 1 | | | | | |
| 合計(18科目) | | | - | 14 | 24 | | 7 | 3 | | | | 3 |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | | | | | | | | |
| 必修科目14単位、専門科目の選択科目から16単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること | | | | | | | | | | | | |

【令和5年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|--|-----------------|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 基本科目 | スポーツ科学総論1 | 1前 | 2 | | | 3 | 2 | | | | | 1 |
| | スポーツ科学総論2 | 1前 | 2 | | | 3 | | | | | | |
| | スポーツ科学研究法 | 1前 | 2 | | | 2 | | 1 | | | | |
| | 小計(3科目) | - | 6 | | | 6 | 2 | 1 | | | | |
| 専門科目 (スポーツ科学分野) | バイオメカニクス特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | 1 |
| | 運動生理学特論 | 1前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ栄養学特論 | 1前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツリハビリテーション特論 | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツ医学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | コーチング学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | トレーニング学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツ心理学特論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | スポーツ社会学特論 | 1後 | | 2 | | | | | | | | |
| | 小計(9科目) | - | | 18 | | 6 | 2 | | | | | |
| 専門科目 (関連分野) | スポーツ統計学特論 | 1前 | | 2 | | | | | | | | 1 |
| | スポーツ英語演習Ⅰ | 1前 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツ英語演習Ⅱ | 1後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | スポーツマネジメント特論 | 1後 | | 2 | | | | | | | | |
| 小計(4科目) | - | | 6 | | | 1 | | | | | | |
| 研究指導 | 特別研究Ⅰ | 1通 | 4 | | | 6 | 2 | | | | | |
| | 特別研究Ⅱ | 2通 | 4 | | | 6 | 2 | | | | | |
| | 小計(2科目) | - | 8 | | | 6 | 2 | | | | | |
| 合計(18科目) | | | - | 14 | 24 | | 6 | 3 | 1 | | | 3 |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | | | | | | | | |
| 必修科目14単位、専門科目の選択科目から16単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること | | | | | | | | | | | | |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

・特になし

【令和6年度】

・准教授1名の教授昇格の理由により、「スポーツ科学総論1」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、「准教授2」から「准教授1」に変更。同理由により「スポーツ栄養学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更、「特別研究Ⅰ」並びに「特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に、「准教授2」から「准教授1」にそれぞれ変更。
・専任講師1名の准教授昇格の理由により、「スポーツ科学研究法」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「専任講師1」から「専任講師0」に変更。

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|---------|----------|---------|----------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 (A) | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 5 科目 | 13 科目 | 0 科目 | 18 科目 | 5 科目 [] | 13 科目 [] | 0 科目 [] | 18 科目 [] | |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由、代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | | | | | | 該当なし |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由、代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|---------------|
| 1 | | | | | | 該当なし |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区分 | | 内容 | | | | 備考 | | | |
|---------------------|--|---|---|---|---|---|---------------------------------|---|-------|
| (1) 校地等 | 区分 | 専用 | 共用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | 共用 日本大学短期大学部 日本大学医学部 附属看護専門学校 (収容定員240人) (面積基準860㎡) 日本大学歯学部附属 歯科技工専門学校 (収容定員105人) (面積基準455㎡) 日本大学歯学部附属 歯科衛生専門学校 (収容定員120人) (面積基準500㎡) 日本大学松戸歯学部 附属歯科衛生専門 学校 (収容定員120人) (面積基準500㎡) 日本大学櫻丘高等 学校 (収容定員1,806人) 日本大学三島高等 学校 (収容定員2,040人) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(5) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(6) | | | |
| | 校舎敷地 | 1,114,269.86㎡ 1,110,266.86㎡ 1,109,823.38㎡ | 208,860.07㎡ 209,072.62㎡ 204,483.52㎡ | 4,214.59㎡ 4,170.15㎡ 7,462.70㎡ | 1,327,344.52㎡ 1,323,509.63㎡ 1,321,769.60㎡ | | | | |
| 運動場用地 | 838,242.06㎡ 887,661.33㎡ | 137,633.19㎡ 81,392.13㎡ | 2,465.69㎡ 13,430.44㎡ | 978,340.94㎡ 982,483.90㎡ | | | | | |
| 小計 | 1,952,511.92㎡ 1,948,508.92㎡ 1,997,484.71㎡ | 346,493.26㎡ 346,705.81㎡ 285,875.65㎡ | 6,680.28㎡ 6,635.84㎡ 20,893.14㎡ | 2,305,685.46㎡ 2,301,850.57㎡ 2,304,253.50㎡ | | | | | |
| その他 | 78,395.33㎡ 77,940.33㎡ | 16,583.94㎡ 16,474.77㎡ 17,747.37㎡ | 448.90㎡ 389.96㎡ 0㎡ | 95,428.17㎡ 95,260.06㎡ 95,657.70㎡ | | | | | |
| 合計 | 2,030,907.25㎡ 2,026,904.25㎡ 2,075,395.04㎡ | 363,077.20㎡ 363,180.58㎡ 303,623.02㎡ | 7,129.18㎡ 7,025.80㎡ 20,893.14㎡ | 2,401,113.63㎡ 2,397,110.63㎡ 2,399,911.20㎡ | | | | | |
| (2) 校舎 | | 専用 1,024,876.74㎡ 1,038,309.92㎡ 1,033,968.36㎡ (3,080.95㎡) | 共用 22,972.07㎡ 23,088.22㎡ 20,216.72㎡ (0㎡) | 共用する他の 学校等の専用 16,233.75㎡ 16,355.03㎡ (0㎡) | 計 1,064,082.56㎡ 1,077,631.89㎡ 1,070,540.11㎡ (3,080.95㎡) | 共用 日本大学短期大学部 日本大学医学部附属 看護専門学校 (収容定員240人) (面積基準860㎡) 日本大学歯学部附属 歯科技工専門学校 (収容定員105人) (面積基準455㎡) 日本大学歯学部附属 歯科衛生専門学校 (収容定員120人) (面積基準500㎡) 日本大学松戸歯学部 附属歯科衛生専門 学校 (収容定員120人) (面積基準500㎡) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(5) 各学部における校舎の新築・ 改築等及び専用・共用区分の 見直しのため(6) | | | |
| (3) 教室等 | 講義室 | 演習室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | 危機管理学部、スポーツ科学部、大学院危機管理学研究科との共用分 | | | |
| 35室 | 11室 | 6室 | 2室 (補助職員 人) | 室 (補助職員 人) | | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | 室数 | | | | | | |
| | スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻 | | 40室 | | | | | | |
| (5) 図書・設備 | 新設学部等の名称 | 図書 〔うち外国書〕 冊 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標本 点 | 危機管理学部、スポーツ科学部、大学院危機管理学研究科との共用分 教育の充実のため(5) 教育の充実のため(6) | |
| | スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻 | 68,588 [9,805] 68,588 [-9,558] 68,588 [-9,405] (64,673 [9,805]) (-60,644 [-9,558]) (-60,106 [-9,275]) | 839 [195] 751 [-188] 561 [-160] (839 [195]) (-751 [-188]) (-561 [-160]) | 32 [32] 29 [-29] 27 [-27] (32 [32]) (-29 [-29]) (-27 [-27]) | 727 723 727 (-721) | 6,961 6,936 | 7 (7) | | |
| (6) 図書館 | 面積 | 閲覧座席数 | 収納可能冊数 | | 危機管理学部、スポーツ科学部、大学院危機管理学研究科との共用分 | | | | |
| | 2563.43㎡ | 258 | 128,000 | | | | | | |
| (7) 体育館 | 面積 | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | | 危機管理学部、スポーツ科学部、大学院危機管理学研究科との共用分 | | |
| | 1642.73㎡ | プール、剣道場、柔道場、相撲場、トレーニングルーム | | | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 区分 | 開設年度 | 完成年度 | 区分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | | |
| | 経費の見積り | 教員1人当り研究費等 | 200千円 | 200千円 | 図書購入費 | 500千円 | 500千円 | | 500千円 |
| | | 共同研究費等 | 0千円 | 0千円 | 設備購入費 | 500千円 | 500千円 | | 500千円 |
| | 学生1人当り納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | | |
| | 945千円 | 745千円 | -千円 | -千円 | -千円 | -千円 | | | |
| | 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 資産運用収入、雑収入、寄付金等 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 日 本 大 学 | | | | | | | | | | 収容定員充足率0.7倍以下の学科数 | 5 | 収容定員充足率1.15倍以上の学科数 | 11 |
|----------|---------|-------|-------|-------|-----------|---------|--------------|-------------------|------|-----------------------|-------------------|---|--------------------|----|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 収容定員充足率 | 収容定員充足率(控除後) | 定員変更年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地 | 備 考 | | | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | 倍 | 年度 | 年度 | | | | | |
| 法 学 部 | | 1,533 | - | 6,132 | - | 1.09 | 1.06 | - | 昭和24 | - | | | | |
| 法律学科 | 4 | 533 | - | 2,132 | 学士(法学) | 1.16 | 1.13 | - | 昭和24 | 東京都千代田区 神田三崎町2-3-1 | | | | |
| 政治経済学科 | 4 | 350 | - | 1,400 | 学士(法学) | 1.04 | 1.02 | - | 昭和24 | 同上 | | | | |
| 新聞学科 | 4 | 200 | - | 800 | 学士(法学) | 1.08 | 1.05 | - | 昭和24 | 同上 | | | | |
| 経営法学科 | 4 | 200 | - | 800 | 学士(法学) | 1.10 | 1.06 | - | 昭和39 | 同上 | | | | |
| 公共政策学科 | 4 | 250 | - | 1,000 | 学士(法学) | 0.99 | - | - | 昭和39 | 同上 | | | | |
| 第二部 | | | | | | | | | | | | | | |
| 法 学 部 | | 200 | - | 800 | - | 0.67 | - | - | 昭和24 | - | | | | |
| 法律学科 | 4 | 200 | - | 800 | 学士(法学) | 0.67 | - | - | 昭和24 | 東京都千代田区 神田三崎町2-3-1 | | | | |
| 文理学部 | | 1,900 | - | 7,600 | - | 1.10 | 1.06 | - | 昭和33 | - | | | | |
| 哲学科 | 4 | 88 | - | 352 | 学士(文学) | 1.13 | 1.07 | - | 昭和33 | 東京都世田谷区 桜上水3-25-40 | | | | |
| 史学科 | 4 | 133 | - | 532 | 学士(文学) | 1.15 | 1.10 | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| 国文学科 | 4 | 133 | - | 532 | 学士(文学) | 1.12 | 1.08 | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| 中国語中国文学科 | 4 | 70 | - | 280 | 学士(文学) | 1.03 | 0.98 | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| 英文学科 | 4 | 133 | - | 532 | 学士(文学) | 1.13 | 1.07 | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| ドイツ文学科 | 4 | 80 | - | 320 | 学士(文学) | 0.99 | - | - | 昭和34 | 同上 | | | | |
| 社会学科 | 4 | 210 | - | 840 | 学士(社会学) | 1.11 | 1.08 | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| 社会福祉学科 | 4 | 60 | - | 240 | 学士(社会福祉学) | 1.10 | 1.06 | - | 平成25 | 同上 | | | | |
| 教育学科 | 4 | 120 | - | 480 | 学士(教育学) | 1.12 | 1.09 | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| 体育学科 | 4 | 200 | - | 800 | 学士(体育学) | 1.15 | 1.12 | - | 昭和37 | 同上 | | | | |
| 心理学科 | 4 | 130 | - | 520 | 学士(心理学) | 1.15 | 1.11 | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| 地理学科 | 4 | 80 | - | 320 | 学士(地理学) | 1.07 | 1.03 | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| 地球科学科 | 4 | 80 | - | 320 | 学士(理学) | 1.08 | 1.02 | - | 昭和36 | 同上 | | | | |
| 数学科 | 4 | 73 | - | 292 | 学士(理学) | 1.09 | 1.06 | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| 情報科学科 | 4 | 80 | - | 320 | 学士(理学) | 1.14 | 1.06 | - | 昭和37 | 同上 | | | | |
| 物理学科 | 4 | 70 | - | 280 | 学士(理学) | 0.92 | - | - | 昭和33 | 同上 | | | | |
| 生命科学科 | 4 | 70 | - | 280 | 学士(理学) | 1.08 | 1.04 | - | 平成16 | 同上 | | | | |
| 化学科 | 4 | 90 | - | 360 | 学士(理学) | 1.06 | 1.01 | - | 昭和37 | 同上 | | | | |
| 経済学部 | | 1,566 | - | 6,264 | - | 1.10 | 1.06 | - | 昭和24 | - | | | | |
| 経済学科 | 4 | 916 | - | 3,664 | 学士(経済学) | 1.14 | 1.09 | - | 昭和24 | 東京都千代田区 神田三崎町1-3-2 | | | | |
| 産業経営学科 | 4 | 450 | - | 1,800 | 学士(経済学) | 1.12 | 1.08 | - | 昭和39 | 同上 | | | | |
| 金融公共経済学科 | 4 | 200 | - | 800 | 学士(経済学) | 0.93 | - | - | 平成22 | 同上 | | | | |
| 商 学 部 | | 1,266 | - | 5,064 | - | 1.07 | 1.03 | - | 昭和32 | - | | | | |
| 商業学科 | 4 | 666 | - | 2,664 | 学士(商学) | 1.06 | 1.03 | - | 昭和32 | 東京都世田谷区 砧5-2-1 | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----------|---|-------|---|-------|-------------------|------|------|---|------|------------------------|
| 経営学科 | 4 | 350 | - | 1,400 | 学士 (商学) | 1.09 | 1.04 | - | 昭和39 | 同上 |
| 会計学科 | 4 | 250 | - | 1,000 | 学士 (商学) | 1.04 | 1.01 | - | 昭和39 | 同上 |
| 芸術学部 | | 866 | - | 3,464 | - | 1.10 | 1.05 | - | 昭和24 | - |
| 写真学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士 (芸術) | 1.12 | 1.04 | - | 昭和24 | 東京都練馬区 旭丘2-42-1 |
| 映画学科 | 4 | 150 | - | 600 | 学士 (芸術) | 1.11 | 1.05 | - | 昭和24 | 同上 |
| 美術学科 | 4 | 60 | - | 240 | 学士 (芸術) | 1.03 | 0.99 | - | 昭和24 | 同上 |
| 音楽学科 | 4 | 90 | - | 360 | 学士 (芸術) | 1.09 | 1.05 | - | 昭和24 | 同上 |
| 文芸学科 | 4 | 120 | - | 480 | 学士 (芸術) | 1.11 | 1.04 | - | 昭和24 | 同上 |
| 演劇学科 | 4 | 126 | - | 504 | 学士 (芸術) | 1.10 | 1.06 | - | 昭和25 | 同上 |
| 放送学科 | 4 | 120 | - | 480 | 学士 (芸術) | 1.06 | 1.04 | - | 昭和35 | 同上 |
| デザイン学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士 (芸術) | 1.12 | 1.07 | - | 平成8 | 同上 |
| 国際関係学部 | | 666 | - | 2,664 | - | 0.99 | - | - | 昭和54 | - |
| 国際総合政策学科 | 4 | 383 | - | 1,532 | 学士 (国際関係) | 1.01 | 0.98 | - | 平成23 | 静岡県三島市 文教町2-31-145 |
| 国際教養学科 | 4 | 283 | - | 1,132 | 学士 (国際関係) | 0.96 | - | - | 平成23 | 同上 |
| 危機管理学部 | | 300 | - | 1,200 | - | 1.06 | 1.04 | - | 平成28 | - |
| 危機管理学科 | 4 | 300 | - | 1,200 | 学士 (危機管理 学) | 1.06 | 1.04 | - | 平成28 | 東京都世田谷区 下馬3-34-1 |
| スポーツ科学部 | | 300 | - | 1,200 | - | 1.07 | 1.04 | - | 平成28 | - |
| 競技スポーツ学科 | 4 | 300 | - | 1,200 | 学士 (体育学) | 1.07 | 1.04 | - | 平成28 | 東京都世田谷区 下馬3-34-1 |
| 理工学部 | | 2,030 | - | 8,120 | - | 1.10 | 1.04 | - | 昭和33 | - |
| 土木工学科 | 4 | 220 | - | 880 | 学士 (工学) | 1.10 | 1.03 | - | 昭和33 | 東京都千代田区神 田駿河台1-8-14 |
| 交通システム工学科 | 4 | 120 | - | 480 | 学士 (工学) | 1.03 | 0.99 | - | 昭和37 | 千葉県船橋市習 志野台7-24-1 |
| 建築学科 | 4 | 250 | - | 1,000 | 学士 (工学) | 1.15 | 1.10 | - | 昭和33 | 同上 |
| 海洋建築工学科 | 4 | 120 | - | 480 | 学士 (工学) | 1.18 | 1.14 | - | 昭和53 | 同上 |
| まちづくり工学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士 (工学) | 1.10 | 1.07 | - | 平成25 | 同上 |
| 機械工学科 | 4 | 160 | - | 640 | 学士 (工学) | 1.06 | 0.99 | - | 昭和33 | 同上 |
| 精密機械工学科 | 4 | 140 | - | 560 | 学士 (工学) | 1.09 | 1.05 | - | 昭和37 | 同上 |
| 航空宇宙工学科 | 4 | 120 | - | 480 | 学士 (工学) | 0.96 | - | - | 昭和53 | 同上 |
| 電気工学科 | 4 | 160 | - | 640 | 学士 (工学) | 1.09 | 1.05 | - | 昭和33 | 同上 |
| 電子工学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士 (工学) | 1.06 | 0.99 | - | 昭和53 | 同上 |
| 応用情報工学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士 (工学) | 1.18 | 1.14 | - | 平成25 | 同上 |
| 物質応用化学科 | 4 | 200 | - | 800 | 学士 (工学) | 1.08 | 1.02 | - | 昭和33 | 同上 |
| 物理学科 | 4 | 140 | - | 560 | 学士 (理学) | 1.10 | 1.04 | - | 昭和33 | 同上 |
| 数学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士 (理学) | 1.19 | 1.14 | - | 昭和34 | 同上 |
| 生産工学部 | | 1,540 | - | 6,160 | - | 1.07 | 1.04 | - | 昭和41 | - |
| 機械工学科 | 4 | 198 | - | 792 | 学士 (工学) | 1.08 | 1.05 | - | 昭和41 | 千葉県習志野市 泉町1-2-1 |
| 電気電子工学科 | 4 | 176 | - | 704 | 学士 (工学) | 1.11 | 1.07 | - | 昭和41 | 千葉県習志野市 新栄2-11-1 |
| 土木工学科 | 4 | 198 | - | 792 | 学士 (工学) | 0.94 | - | - | 昭和41 | 同上 |
| 建築工学科 | 4 | 198 | - | 792 | 学士 (工学) | 1.16 | 1.12 | - | 昭和41 | 同上 |

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|-------|---|-------|---------------|------|------|-----|------|--------------------|-------------------------|
| 応用分子化学科 | 4 | 176 | - | 704 | 学士 (工学) | 1.01 | 0.96 | - | 昭和41 | 同上 | |
| マネジメント工学科 | 4 | 176 | - | 704 | 学士 (工学) | 1.06 | 1.03 | - | 昭和41 | 同上 | |
| 数理情報工学科 | 4 | 154 | - | 616 | 学士 (工学) | 1.16 | 1.12 | - | 昭和41 | 同上 | |
| 環境安全工学科 | 4 | 132 | - | 528 | 学士 (工学) | 0.98 | - | - | 昭和21 | 同上 | |
| 創生デザイン学科 | 4 | 132 | - | 528 | 学士 (工学) | 1.12 | 1.09 | - | 昭和21 | 同上 | |
| 工 学 部 | | 1,030 | - | 4,120 | - | 0.93 | - | - | 昭和24 | - | |
| 土木工学科 | 4 | 160 | - | 630 | 学士 (工学) | 0.93 | - | - | 昭和24 | 福島県郡山市田村町徳定字中河原1 | 令和4年度から入学定員変更(150→160) |
| 建築学科 | 4 | 190 | - | 750 | 学士 (工学) | 1.01 | 0.99 | - | 昭和24 | 同上 | 令和4年度から入学定員変更(180→190) |
| 機械工学科 | 4 | 180 | - | 720 | 学士 (工学) | 0.83 | - | - | 昭和24 | 同上 | |
| 電気電子工学科 | 4 | 180 | - | 720 | 学士 (工学) | 0.89 | - | - | 昭和24 | 同上 | |
| 生命応用化学科 | 4 | 130 | - | 550 | 学士 (工学) | 0.71 | - | - | 昭和24 | 同上 | 令和4年度から入学定員変更(160→130) |
| 情報工学科 | 4 | 190 | - | 750 | 学士 (工学) | 1.16 | 1.14 | - | 平成5 | 同上 | 令和4年度から入学定員変更(180→190) |
| 医 学 部 | | 135 | - | 755 | - | 1.01 | 0.98 | - | 昭和27 | - | |
| 医学科 | 6 | 135 | - | 755 | 学士 (医学) | 1.01 | 0.98 | 令和6 | 昭和27 | 東京都板橋区大谷口上町30-1 | 令和6年度臨時入学定員増(120→135) |
| 歯 学 部 | | 130 | - | 780 | - | 1.02 | 0.93 | - | 昭和27 | - | |
| 歯学科 | 6 | 130 | - | 780 | 学士 (歯学) | 1.02 | 0.93 | - | 昭和27 | 東京都千代田区神田駿河台1-8-13 | |
| 松戸歯学部 | | 130 | - | 780 | - | 0.95 | - | - | 昭和51 | - | |
| 歯学科 | 6 | 130 | - | 780 | 学士 (歯学) | 0.95 | - | - | 昭和51 | 千葉県松戸市栄町西2-870-1 | |
| 生物資源科学部(4年制) | 4 | 1,400 | - | 3,072 | - | 1.04 | 1.04 | - | 平成8 | - | |
| 生物資源科学部(6年制) | 6 | 120 | - | 720 | - | 1.08 | 1.06 | - | 平成8 | - | |
| バイオサイエンス学科 | 4 | 210 | - | 420 | 学士 (生物資源学) | 1.03 | - | 令和5 | 令和5 | 神奈川県藤沢市亀井野1866 | 令和5年度から改組による学科設置(0→210) |
| 動物学科 | 4 | 136 | - | 272 | 学士 (生物資源学) | 1.04 | - | 令和5 | 令和5 | 同上 | 令和5年度から改組による学科設置(0→136) |
| 海洋生物学科 | 4 | 146 | - | 292 | 学士 (生物資源学) | 1.07 | - | 令和5 | 令和5 | 同上 | 令和5年度から改組による学科設置(0→146) |
| 森林学科 | 4 | 120 | - | 240 | 学士 (生物資源学) | 1.02 | 1.02 | 令和5 | 令和5 | 同上 | 令和5年度から改組による学科設置(0→120) |
| 環境学科 | 4 | 130 | - | 260 | 学士 (生物資源学) | 1.00 | - | 令和5 | 令和5 | 同上 | 令和5年度から改組による学科設置(0→130) |
| アグリサイエンス学科 | 4 | 140 | - | 280 | 学士 (生物資源学) | 1.05 | - | 令和5 | 令和5 | 同上 | 令和5年度から改組による学科設置(0→140) |
| 食品開発学科 | 4 | 146 | - | 292 | 学士 (生物資源学) | 1.01 | 1.00 | 令和5 | 令和5 | 同上 | 令和5年度から改組による学科設置(0→146) |
| 食品ビジネス学科 | 4 | 146 | - | 564 | 学士 (生物資源学) | 1.06 | 1.04 | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度から入学定員変更(136→146) |
| 国際共生学科 | 4 | 146 | - | 292 | 学士 (生物資源学) | 1.05 | - | 令和5 | 令和5 | 同上 | 令和5年度から改組による学科設置(0→146) |
| 獣医保健看護学科 | 4 | 80 | - | 160 | 学士 (生物資源学) | 1.05 | - | 令和5 | 令和5 | 同上 | 令和5年度から改組による学科設置(0→80) |
| 獣医学科 | 6 | 120 | - | 720 | 学士 (獣医学) | 1.08 | 1.06 | - | 平成8 | 同上 | |
| 生命農学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |
| 生命化学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |
| 動物資源科学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |
| 森林資源科学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |
| 海洋生物資源科学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |
| 生物環境工学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |
| 食品生命学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |
| 国際地域開発学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--------|---|--------|---------------|------|------|---|------|------------------|------------------|
| 応用生物科学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成8 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |
| くらしの生物学科 | 4 | - | - | - | 学士 (生物資源学) | - | - | - | 平成27 | 同上 | 令和5年度入学生より学生募集停止 |
| 薬学部 | | 244 | - | 1,464 | - | 1.04 | 1.01 | - | 平成18 | - | |
| 薬学科 | 6 | 244 | - | 1,464 | 学士 (薬学) | 1.04 | 1.01 | - | 平成18 | 千葉県船橋市習志野台7-7-1 | |
| (通信教育部) | | 9,000 | - | 36,000 | - | - | - | - | 昭和25 | - | |
| 法学部 | 4 | 3,000 | - | 12,000 | 学士 (法学) | 0.10 | - | - | 昭和25 | 東京都千代田区九段南4-8-28 | |
| 文理学部 | 4 | 3,000 | - | 12,000 | 学士 (文学) | 0.29 | - | - | 昭和25 | 同上 | |
| 経済学部 | 4 | 1,500 | - | 6,000 | 学士 (経済学) | 0.18 | - | - | 昭和25 | 同上 | |
| 商学部 | 4 | 1,500 | - | 6,000 | 学士 (商学) | 0.26 | - | - | 昭和32 | 同上 | |
| 大学全体 | 4 | 24,356 | - | 96,359 | - | - | - | - | - | - | |

| 大学の名称 | 日本大学短期大学部 | | | | | | | | | | 収容定員充足率0.7倍以下の学科数 | 2 | 収容定員充足率1.15倍以上の学科数 | 0 |
|-----------------|-----------|------|-------|------|-----------------|---------|--------------|-------------------|------|-------------------|------------------------|---|--------------------|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 収容定員充足率 | 収容定員充足率(控除後) | 定員変更年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地 | 備考 | | | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | 倍 | 年度 | 年度 | | | | | |
| ビジネス教養学科 | 2 | 100 | - | 200 | 短期大学士(商経学) | 0.56 | - | - | 昭和25 | 静岡県三島市文教町2-31-145 | | | | |
| 食物栄養学科 | 2 | 100 | - | 200 | 短期大学士(栄養学) | 0.69 | - | - | 昭和37 | 同上 | 令和7年度入学生より学生募集停止 | | | |
| 建築・生活デザイン学科 | 2 | 102 | - | 212 | 短期大学士(工学) | 0.94 | - | - | 昭和25 | 千葉県船橋市習志野台7-24-1 | 令和6年度から入学定員変更(110→102) | | | |
| ものづくり・サイエンス総合学科 | 2 | 78 | - | 148 | 短期大学士(工学)又は(理学) | 0.84 | - | - | 昭和25 | 同上 | 令和6年度から入学定員変更(70→78) | | | |
| 大学全体 | 2 | 380 | - | 760 | - | - | - | - | - | - | | | | |

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<大学院スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

【令和6年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 |
|------------|-----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専 | 教授 | アオヤマ アキ 青山 亜紀 (57) <令和5年4月> 博士(教育学) |
| | | スポーツ科学総論2※ トレーニング学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | ホテヤ コウ 布袋屋 浩 (59) <令和5年4月> 博士(医学) |
| | | スポーツ科学総論1※ スポーツ医学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | コマツ タイキ 小松 泰喜 (55) <令和5年4月> 博士(学術) |
| | | スポーツ科学総論1※ スポーツ科学研究法※ スポーツリハビリテーション特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | キタムラ カツロウ 北村 勝朗 (61) <令和5年4月> 博士(教育学) |
| | | スポーツ科学総論2※ スポーツ科学研究法※ コーチング学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | モリオカ ヤスノリ 森丘 保典 (53) <令和5年4月> 修士(体育学) |
| | | スポーツ科学総論1※ バイオメカニクス特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | タネガシマ ヒサシ 種ヶ嶋 尚志 (48) <令和5年4月> 博士(心理学) |
| | | スポーツ科学総論2※ スポーツ心理学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 准教授 | マツオ エリコ 松尾 絵梨子 (41) <令和5年4月> 博士(学術) |
| | | スポーツ科学総論1※ 運動生理学特論 特別研究I 特別研究II |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 |
|------------|----------|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専 | 教授 | アオヤマ アキ 青山 亜紀 (57) <令和5年4月> 博士(教育学) |
| | | スポーツ科学総論2※ トレーニング学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | ホテヤ コウ 布袋屋 浩 (59) <令和5年4月> 博士(医学) |
| | | スポーツ科学総論1※ スポーツ医学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | コマツ タイキ 小松 泰喜 (55) <令和5年4月> 博士(学術) |
| | | スポーツ科学総論1※ スポーツ科学研究法※ スポーツリハビリテーション特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | キタムラ カツロウ 北村 勝朗 (61) <令和5年4月> 博士(教育学) |
| | | スポーツ科学総論2※ スポーツ科学研究法※ コーチング学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | モリオカ ヤスノリ 森丘 保典 (53) <令和5年4月> 修士(体育学) |
| | | スポーツ科学総論1※ バイオメカニクス特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授(専攻主任) | タネガシマ ヒサシ 種ヶ嶋 尚志 (48) <令和5年4月> 博士(心理学) |
| | | スポーツ科学総論2※ スポーツ心理学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 准教授 | マツオ エリコ 松尾 絵梨子 (41) <令和5年4月> 博士(学術) |
| | | スポーツ科学総論1※ 運動生理学特論 特別研究I 特別研究II |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 |
|------------|----------|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専 | 教授 | アオヤマ アキ 青山 亜紀 (58) <令和5年4月> 博士(教育学) |
| | | スポーツ科学総論2※ トレーニング学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授(専攻主任) | ホテヤ コウ 布袋屋 浩 (60) <令和5年4月> 博士(医学) |
| | | スポーツ科学総論1※ スポーツ医学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | コマツ タイキ 小松 泰喜 (56) <令和5年4月> 博士(学術) |
| | | スポーツ科学総論1※ スポーツ科学研究法※ スポーツリハビリテーション特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | キタムラ カツロウ 北村 勝朗 (62) <令和5年4月> 博士(教育学) |
| | | スポーツ科学総論2※ スポーツ科学研究法※ コーチング学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | モリオカ ヤスノリ 森丘 保典 (54) <令和5年4月> 修士(体育学) |
| | | スポーツ科学総論1※ バイオメカニクス特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 教授 | タネガシマ ヒサシ 種ヶ嶋 尚志 (49) <令和5年4月> 博士(心理学) |
| | | スポーツ科学総論2※ スポーツ心理学特論 特別研究I 特別研究II |
| 専 | 准教授 | マツオ エリコ 松尾 絵梨子 (42) <令和5年4月> 博士(学術) |
| | | スポーツ科学総論1※ 運動生理学特論 特別研究I 特別研究II |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 |
|------------|-----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 専 | 准教授 | タツタ ワカコ 辰田 和佳子 (48) ＜令和5年4月＞ 修士(スポーツ科学) |
| | | スポーツ科学総論1※ スポーツ栄養学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ |
| 専 | 准教授 | アキハ トモフミ 秋葉 倫史 (42) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※ |
| | | スポーツ英語演習Ⅰ スポーツ英語演習Ⅱ |
| 専 | 講師 | ハラ レイラ 原 怜来 (35) ＜令和5年4月＞ 博士(スポーツ科学) |
| | | スポーツ科学研究法※ |
| 兼任 | 教授 | ウエノ コウジ 上野 広治 (63) ＜令和5年4月＞ 修士(体育学) |
| | | スポーツマネジメント特論 |
| 兼任 | 教授 | ミズカミ ヒロシ 水上 博司 (53) ＜令和5年4月＞ 教育学修士 |
| | | スポーツ科学総論2※ スポーツ社会学特論 |
| 兼任 | 講師 | シミズ チヒロ 清水 千弘 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(環境学) |
| | | スポーツ統計学特論 |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 |
|------------|-----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 専 | 准教授 | タツタ ワカコ 辰田 和佳子 (48) ＜令和5年4月＞ 修士(スポーツ科学) |
| | | スポーツ科学総論1※ スポーツ栄養学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ |
| 専 | 准教授 | アキハ トモフミ 秋葉 倫史 (42) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※ |
| | | スポーツ英語演習Ⅰ スポーツ英語演習Ⅱ |
| 専 | 講師 | ハラ レイラ 原 怜来 (35) ＜令和5年4月＞ 博士(スポーツ科学) |
| | | スポーツ科学研究法※ |
| 兼任 | 教授 | ウエノ コウジ 上野 広治 (63) ＜令和5年4月＞ 修士(体育学) |
| | | スポーツマネジメント特論 |
| 兼任 | 教授 | ミズカミ ヒロシ 水上 博司 (53) ＜令和5年4月＞ 教育学修士 |
| | | スポーツ科学総論2※ スポーツ社会学特論 |
| 兼任 | 講師 | シミズ チヒロ 清水 千弘 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(環境学) |
| | | スポーツ統計学特論 |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 |
|------------|-----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 専 | 教授 | タツタ ワカコ 辰田 和佳子 (49) ＜令和5年4月＞ 修士(スポーツ科学) |
| | | スポーツ科学総論1※ スポーツ栄養学特論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ |
| 専 | 准教授 | アキハ トモフミ 秋葉 倫史 (43) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※ |
| | | スポーツ英語演習Ⅰ スポーツ英語演習Ⅱ |
| 専 | 准教授 | ハラ レイラ 原 怜来 (36) ＜令和5年4月＞ 博士(スポーツ科学) |
| | | スポーツ科学研究法※ |
| 兼任 | 教授 | ウエノ コウジ 上野 広治 (64) ＜令和5年4月＞ 修士(体育学) |
| | | スポーツマネジメント特論 |
| 兼任 | 教授 | ミズカミ ヒロシ 水上 博司 (54) ＜令和5年4月＞ 教育学修士 |
| | | スポーツ科学総論2※ スポーツ社会学特論 |
| 兼任 | 講師 | シミズ チヒロ 清水 千弘 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(環境学) |
| | | スポーツ統計学特論 |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

特になし。

【令和6年度】

- ・令和6年4月1日に辰田和佳子准教授が教授へ昇格。
- ・令和6年4月1日に原怜来専任講師が准教授へ昇格。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

| | | |
|----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数 | うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数 | 完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数 |
| 4 名 | 3 名 | 4 名 |

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

| 設置時の計画 | | | | | | 現在（報告時）の状況 | | | | | |
|---------------------|-----|---------------|----------------|----------|------------|---------------------|-----|---------------|----------------|----------|------------|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 (A) | 助手 (A') | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 (B) | 助手 (B') |
| 6 | 3 | 1 | 0 | 10 | 0 | 7 | 3 | 0 | 0 | 10 | 0 |
| (6) | (3) | (1) | (0) | (10) | (0) | | | | | | |
| 研究 指導 教員 数 | | 研究指導補助 教員数 | 講義のみ担当 の教員数 | / | | 研究 指導 教員 数 | | 研究指導補助 教員数 | 講義のみ担当 の教員数 | / | |
| うち教授 数 | | | | | | うち教授 数 | | | | | |
| 8 | 6 | 0 | 2 | | | 8 | 7 | 0 | 2 | | |
| (8) | (6) | (0) | (2) | | | | | | | | |
| 現在（報告時）の完成年度時の状況 | | | | | | 現在（報告時）の完成年度時の計画 | | | | | |
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 (C) | 助手 (C') | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 (D) | 助手 (D') |
| 7 | 3 | 0 | 0 | 10 | 0 | 7 | 3 | 0 | 0 | 10 | 0 |
| [1] | [0] | [△1] | [0] | [0] | [0] | [1] | [0] | [△1] | [0] | [0] | [0] |
| 研究 指導 教員 数 | | 研究指導補助 教員数 | 講義のみ担当 の教員数 | / | | 研究 指導 教員 数 | | 研究指導補助 教員数 | 講義のみ担当 の教員数 | / | |
| うち教授 数 | | | | | | うち教授 数 | | | | | |
| 8 | 7 | 0 | 2 | | | 8 | 7 | 0 | 2 | | |
| [0] | [1] | [0] | [0] | | | [0] | [1] | [0] | [0] | | |

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

| 年齢構成 | | |
|---------------------|---|--|
| 定年規定の定める 定年年齢（歳） | 報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数 | 完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数 |
| 65 歳 | 0 名 | 0 名 |

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 時期 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由 | | | | | | |
|------------|----|---------------------|----|------------|--------|--------------|--------------|----------|---|----------|----|---|----|
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計（D） | | | | | | 後任補充状況の集計（E） | | | | | | | |
| 就任を辞退した教員数 | | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） | | | | ①の合計数（a） | | ②の合計数（b） | | ③の合計数（c） | | | |
| 0 | 人 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 |
| | | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 |
| | | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 |

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 時期 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 辞任等の理由 | | | | | | |
|---------|----|---------------------|----|------------|--------|--------------|--------|----------|---|----------|----|---|----|
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計（F） | | | | | | 後任補充状況の集計（G） | | | | | | | |
| 辞任した教員数 | | 担当科目数の合計（a）+（b）+（c） | | | | ①の合計数（a） | | ②の合計数（b） | | ③の合計数（c） | | | |
| 0 | 人 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 |
| | | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 |
| | | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 |

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

| 合計 (D) + (F) | | | 後任補充状況の集計 (E) + (G) | | | | | |
|--------------|--------------------------|------|---------------------|------|-----------|------|-----------|------|
| 辞任等した教員数 | 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) | | ①の合計数 (a) | | ②の合計数 (b) | | ③の合計数 (c) | |
| 0 人 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 0 科目 |
| | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 |
| | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 |
| | 計 | 0 科目 | 計 | 0 科目 | 計 | 0 科目 | 計 | 0 科目 |

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{10} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 辞任等の理由 | | |
|---------|--------------------------|--------|------------|--------|-----------|--------|-----------|------|
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | 後任補充状況の集計 | | | |
| 辞任した教員数 | 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) | | ①の合計数 (a) | | ②の合計数 (b) | | ③の合計数 (c) | |
| 0 人 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 0 科目 |
| | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 |
| | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 |
| | 計 | 0 科目 | 計 | 0 科目 | 計 | 0 科目 | 計 | 0 科目 |

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

| 区 分 | 附 帯 事 項 等 | 履 行 状 況 | 今後の の実施計画 |
|--------------------------------|-----------|---------|--------------|
| 認 可 時 (令和4年) | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度) | 該当なし | | |

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|---------------------------------|--|
| ① 施設・設備 a 大学院生室（2号館3階の教室を充当） | ① 学生の修学環境及び研究指導受講環境を高めるため、教員の研究室に近い1号館6階に大学院生室（70.49㎡）を整備した。 |

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

| |
|---|
| ① 実施体制（※学部と共同体制） a 委員会の設置状況 ・ FD委員会（委員：専任教員8名、事務職員1名）を設置 ・ SD委員会（委員：専任教員5名、事務職員6名）を設置 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 年2～4回の開催を予定。令和6年度FD活動方針及び計画を立案し、計画に基づきFD活動を実施予定。 ・ 年2～4回の開催を予定。令和6年度SD活動方針及び計画を立案し、計画に基づきSD活動を実施予定。 c 委員会の審議事項等 ・ 令和6年度FD活動方針及び計画等を予定 ・ 令和6年度SD活動方針及び計画等を予定 ② 実施状況 a 実施内容 FDに関する実施内容 ・ 「学生による授業評価アンケート（年2回）」の継続実施及び検証 ・ 授業用LMSに関する講習会（初級編、中級編） ・ 障がい学生支援制度の適正運用に向けて ・ ティーチング・ポートフォリオ・チャート作成ワークショップ 等 SDに関する実施内容 ・ 新人教職員に対する研修会 ・ 認証評価のための内部質保証から学生のための内部質保証へ ・ 各部署関連した学生支援体制の構築に向けて 等 b 実施方法 FDに関する実施内容 ・ 「学生による授業評価アンケート」を年2回程度実施予定 |
|---|

- ・「FD研修会」を年2～4回実施予定

SDに関する実施内容

- ・「SD研修会」を年2～4回実施予定

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・「学生による授業評価アンケート」は対象科目を検討し実施予定。
- ・「FD研修会」を上半期1回、下半期1回程度実施予定（可能な限り各半期2回実施する）
- ・「SD研修会」を上半期1回、下半期1回程度実施予定（可能な限り各半期2回実施する）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・「学生による授業評価アンケート」の実施時に提出を求めている「授業改善計画」を活用し、科目担当教員が各自教授法や授業内容、講義の進め方等の改善を進める予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・「学生による授業評価アンケート」を年2回実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・結果を担当科目の教員へフィードバックする予定

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本大学の自己点検・評価制度は、建学の精神・教育理念に基づく教育・研究及び管理運営等の全般につき、常に自己点検・評価を行うとともに改善に努めることによって、本大学の活性化及び合理化を図り社会的責務を果たすことを目的とする。令和6年度にて完成年度を迎えるため、自己点検・評価を実施し目的の達成状況について評価することとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和7年4月 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和6年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学機関別認証評価を受審中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

日本大学三軒茶屋キャンパスFD委員会内規

令和3年4月15日制定

令和3年4月1日施行

(設置)

第1条 日本大学三軒茶屋キャンパス（以下「キャンパス」という）に、危機管理学部長及びスポーツ科学部長（以下「学部長」という）の諮問機関として、FD委員会（以下「委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、キャンパスのファカルティ・デベロップメント（以下「FD」という）を推進するとともに、キャンパス内部質保証委員会と連携し、本学の教育の質的向上に資することを目的とする。

(審議事項)

第3条 委員会は、危機管理学部及びスポーツ科学部（以下「学部」という）のFDに係る次の各号に掲げる事項につき審議答申する。

- ① 学内外のFD情報の収集及び調査並びにFD推進に関する事項
- ② 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- ③ 教員に対する研修会、講習会及び講演会等に関する事項
- ④ 教員の教授活動のための相互研鑽の実施に関する事項
- ⑤ 教員の教育・研究業績評価方法に関する事項
- ⑥ 前各号に掲げる事項について必要な調査等に関する事項
- ⑦ その他FDに関する事項

(委員会の構成)

第4条 委員会は、次の者をもってこれを構成する。

- ① 委員長
- ② 副委員長
- ③ 学部長が推薦する者若干名

2 委員会に、幹事を置くことができる。

3 委員会構成員及び幹事は学部長が委嘱する。

4 委員長は、必要に応じ委員以外の者を出席させ意見を求めることができる。

(委員会の招集・定足数)

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員会構成員の過半数の出席をもって成立する。

(委員の任期)

第6条 委員長、副委員長、委員及び幹事の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補充の委員及び幹事の任期は、前任者の残任期間とする。

(専門委員会)

第7条 委員会に、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員は、委員及び委員以外の者から、学部長の承認を得て委員長が委嘱する。

(所管)

第8条 委員会に関する事務は、教学サポート課が行う。

附 則

この内規は、令和3年4月1日から施行する。

日本大学三軒茶屋キャンパスSD委員会内規

令和3年4月15日制定

平成29年4月1日施行

(設置)

第1条 日本大学三軒茶屋キャンパスに（以下「キャンパス」という）、キャンパス事務局長（以下「事務局長」という）の諮問機関として、SD委員会（以下「委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、キャンパスのスタッフ・デベロップメント（以下「SD」という）を推進するとともに内部質保証委員会と連携し本大学の教育の質的向上に資することを目的とする。

(審議事項)

第3条 委員会は、キャンパスのSDに係る次の各号に掲げる事項につき審議答申する。

- ① 学内外のSD情報の収集及び調査並びにSD推進に関する事項
- ② 大学教育及び管理運営のための基本方針の策定に関する事項
- ③ 職員に対する研修会、講習会及び講演会等に関する事項
- ④ 職員の事務業務のための相互研鑽の実施に関する事項
- ⑤ 前各号に掲げる事項について必要な調査等に関する事項
- ⑥ その他SDに関する事項

(委員会の構成)

第4条 委員会は、次の者をもってこれを構成する。

- ① 委員長
 - ② 副委員長
 - ③ 事務局長が推薦する者若干名
- 2 委員会に、幹事を置くことができる。
- 3 委員会構成員及び幹事は事務局長が委嘱する。
- 4 委員長は、必要に応じ委員以外の者を出席させ意見を求めることができる。

(委員会の招集・定足数)

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員会構成員の過半数の出席をもって成立する。

(委員の任期)

第6条 委員長、副委員長、委員及び幹事の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補充の委員及び幹事の任期は、前任者の残任期間とする。

(専門委員会)

第7条 委員会に、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員は、委員及び委員以外の者から、学部長の承認を得て委員長が委嘱する。

(所 管)

第8条 委員会に関する事務は、管理マネジメント課が行う。

附 則

この内規は、平成29年4月1日から施行する。